

地震

あわてず行動して



地震のときは落下物や窓ガラスに気をつけて、落ちついて身を守って。ゆれがおさまったら火の始末、家族の安全を確認して、避難の準備をしよう。逃げるときは非常持ち出し品を持って、公園や神社などの一時避難所へ。



福井地震

1948(昭和23)年6月28日午後4時13分、嶺北北部を震源とするマグニチュード7.1の直下型地震が発生。県内の死者3,728人、負傷者21,750人、家屋全壊35,382戸に達しました。

津波

より高い所へ



地震が起きたら海岸からすぐに離れ、高台など安全な場所へ避難して。津波はくり返しやってくるので、避難しても気をゆるめてはいけないよ。川をさかのぼってくることもあるから、川には絶対に近づかないでね。



竜巻

すぐ身を守るための行動を



竜巻が迫ってきたら頑丈な建物の中や陰に入って身を小さくしよう。屋内なら1階の窓のない部屋に移ってね。電柱や大木でも倒れる可能性があるから危険だよ。積乱雲が発達しやすい台風シーズンの9、10月は特に注意を。

家族で防災を考えよう。

- ステップ 1** 住んでいる地域のハザードマップを調べたり、
地域の人から聞き取りをして、危険な場所や避難場所を確認しよう。
- ステップ 2** もし災害が起こったとき、どう行動するのかや、
どうやって連絡を取り合うのかなどを家族で相談しよう。
- ステップ 3** 家族で相談した約束事を実際にやってみよう。



必要なものを家族で考えよう。

誰が何を持っていくのかな？



非常持ち出し袋

(参考例)

・印鑑

・貯金通帳

・各種カード

・現金

・ライター

・ろうそく

・懐中電灯

・電池

・ラジオ

・ナイフ

・救急箱

・衣類

・手袋

・毛布

・ヘルメット

・防災ずきん

・非常食

・水

・ほ乳びん

・携帯電話

・缶切り

